

レンズ交換式プレミアムカメラ「FUJIFILM X-M1」や乳がん検査用デジタルX線撮影装置「AMULET Innovality」など

富士フィルム主要10製品が「グッドデザイン賞」を受賞！

多様な分野の製品のデザイン力と性能が評価

平成 25 年 10 月 1 日

富士フィルム株式会社(社長:中嶋 成博)は、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する2013年度グッドデザイン賞^{※1}において、レンズ交換式プレミアムカメラ「FUJIFILM X-M1」や、乳がん検査用デジタルX線撮影装置「AMULET Innovality」など主要10製品が、「グッドデザイン賞」を受賞しました。

今回、当社が「グッドデザイン賞」を受賞したのは、デジタルカメラやフォトブックサービスなどのコンシューマ向け製品から、デジタルX線撮影装置やHDTVレンズなどの業務用製品まで多岐にわたっています。また、製品の外観デザインだけでなく、それぞれの製品の高い性能、使いやすさ、快適な操作を実現したユーザーインターフェース、医療機器における体への負担の少なさなど、様々な観点から高く評価されました。

多くの応募の中から、多数の当社製品が「グッドデザイン賞」に選ばれましたことを励みに、これからも優れた製品の開発に取り組んでいきます。



<「グッドデザイン賞」受賞の製品(未発表の2製品を除く8製品)>

・未発表製品は新製品発表のタイミングに合わせてご案内します。

① デジタルカメラ
「FUJIFILM X-M1」



② デジタルカメラ
「FUJIFILM X100S」



③ デジタルカメラ
「FUJIFILM X20」



④ フォトブックサービス
「Year Album」



⑤ 銀塩写真フィルム
「銀塩写真フィルムパッケージ」



⑥ HDTV レンズ
「FUJINON XA99x8.4」



⑦ 乳がん検査用デジタルX線撮影装置
「AMULET Innovality」



⑧ デジタル X 線画像診断装置
「CALNEO C 1717 Wireless SQ」



※1:昭和 32 年に通商産業省(現経済産業省)によって創設された「グッドデザイン商品選定制度(通称Gマーク制度)」を母体とし、平成 10 年より財団法人日本産業デザイン振興会(現公益財団法人日本デザイン振興会)の主催事業として運営される日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨制度。これまで 50 年以上にわたり、産業の発展とくらしの質を高めるデザインを広く伝えることを目的に展開されています。

グッドデザイン賞 受賞製品

■デジタルカメラ「FUJIFILM X-M1」

APS-C サイズ「X-Trans CMOS」センサーを搭載し、小型軽量でフルサイズセンサー搭載機に匹敵する高画質を実現したレンズ交換式プレミアムカメラ。チルト式液晶や Wi-Fi 通信など多彩な機能を搭載、撮影画像をスマホ等に簡単に送信可能です。本体には、耐久性とグリップ性を両立した合成皮革を採用し、高品位な質感を実現しています。ダイヤルや操作ボタンを本体背面右側に集約し、片手で直感的に素早く操作できます。

【審査員の評価コメント】

飽きることなく長く使える普遍的なカメラらしい外観。気軽に持ち歩けるコンパクトなサイズ。コンパクトなサイズでありながら操作性やホールド性を犠牲にしないダイヤルやボタン。片手での操作を容易にするレイアウト。クリックの感触や音にまでこだわった金属削り出しの天面ダイヤル類。それらの要素はユーザーのカメラを所有する喜びと操作する喜びを喚起する。高い質感を維持した小型化と心地よい操作感を両立させたことを評価した。



■デジタルカメラ「FUJIFILM X100S」

高級コンパクトデジタルカメラの新たな市場を拓いた「FUJIFILM X100」の後継機種として、高画質と高速処理能力を高い次元で両立するなど、飛躍的な進化を遂げたプレミアムコンパクトデジタルカメラ。操作部を改良し、デザイン性を追求した高品位なボディに、APS-C サイズ「X-Trans CMOS II」センサーと画像処理エンジン「EXR プロセッサー II」を搭載。フルサイズセンサー搭載機に匹敵する高い解像感と低ノイズ、世界最速 0.08 秒のオートフォーカスと高速レスポンスを実現しています。左右にずれた像を一致させることでピントを合わせる世界初の「デジタルスプリットイメージ^{※2}」など、充実のマニュアルフォーカス機能も搭載しています。

※2 デジタルスプリットイメージ、Digital Split Imageは、富士フイルム(株)の商標または登録商標です。

【審査員の評価コメント】

マグネシウムとレザー貼りを併用した往年のカメラらしい外観、金属を削り出したレンズ鏡筒部やダイヤル類のディテールは、所有したくなる感情をユーザーに育む。また各操作ダイヤルやボタンなどの感触は、操作する喜びを感じさせる。そして光学ファインダーと電子ファインダーをハイブリッドにしたことで、両方の利点を同時に享受した全く新しく明るく快適なファインダーを提供した。スマートフォンによる写真撮影が一般化する中で「自分のカメラで写真を撮りたくなる」というクリエイティブなマインドを多くのユーザーに喚起させるカメラである。



■デジタルカメラ「FUJIFILM X20」

フォーカスエリア、シャッタースピード、絞り値などの撮影情報をファインダー内に見やすく表示する「アドバンスト光学ファインダー」を搭載し、高画質と洗練された操作性、デザインで「ファインダーを覗いて撮る楽しさ」を感じさせるプレミアムコンパクトデジタルカメラ。2/3型「X-Trans CMOS II」センサーと「EXR プロセッサー II」、広角端開放 F 値 2.0 からの明るく高性能な「フジノン光学 4 倍マニュアルズームレンズ」をコンパクトなボディに搭載し、細部まで高い解像感と大幅な低ノイズ化を実現。ボディにはマグネシウムダイキャストを採用し、繊細なデザインを施しています。電源スイッチと連動したズームリングを搭載しており、構えてリングを回せば素早くカメラを起動させることができ、シャッターチャンスを逃しません。リングの滑らかな操作感にもこだわっています。

【審査員の評価コメント】

実像式ズームファインダーにデジタルトランス液晶とアイセンサーを搭載することで、ユーザーの求めていた見えのよい光学式ファインダー内での情報表示を可能とし、ファインダーから目を離さずに被写体に集中できる”撮影する楽しみ”を提供した点を高く評価した。高画質・高性能をコンパクトなデザインに纏めたことで、アマチュアからプロフェッショナルまで幅広いユーザーが、日常のスナップショットから本格的な作品撮影まで様々な用途で使用できるカメラである。



■フォトブックサービス「Year Album」

デジタル時代に相応しいアルバム作りを提案する新しいフォトブックサービス。日ごろ撮り溜めた何気ない日常の光景、大切な思い出など、整理し切れていない沢山の写真を、①撮影期間、②保存場所、③ページ数を設定するだけで、当社独自の画像解析技術により画像セレクトからレイアウトまで自動で行い、簡単に銀写真プリントの高品質なアルバムにまとめることができます。

【審査員の評価コメント】

カメラがフィルムからデジタルに移行して、シャッターを押すという行為はより気軽になり、撮影する写真枚数は増えていく。同時に現像するという工程は失われ、現物としてのアルバムが消えていくことは写真本来の「思い出」としての機能を失うことでもある。その解決としてアルバム製作の心理的ハードルを徹底的に下げようという明確なコンセプト、それを実現する写真への深い見解、技術を高く評価した。



■銀塩写真フィルム「銀塩写真フィルムパッケージ」

当社が銀塩写真フィルムを継続し、「写真文化を守る」意思を明確に発信するため、フジカラーPRO400H、フジクロームプロビア100F・ベルビア100・ベルビア50、ネオパン100ACROSの5品種を、統一感のある新デザインパッケージに変更しました。

【審査員の評価コメント】

デジタルカメラが市場の90%を占めるといわれるカメラ業界において、今あえてフィルムのフルラインアップを手がけるメーカーの真摯な姿勢を評価した。時代とともに消え行くプロダクトがある中で、生き残り続けるには、企業の努力に頼らざるを得ない面がある。清々しい取り組みの一つといえよう。



■HDTVレンズ「FUJINON XA99x8.4」

広角8.4mmからの99倍高倍率ズームと高い光学性能を実現し、スポーツ中継やコンサート・ライブ中継などに最適なHDTVレンズ。「新光学式防振機構」を搭載し、高倍率ズームレンズの望遠側の焦点距離で発生しやすい、風や足場の揺れによる画面上の像ブレを、従来よりもさらに高精度に補正して安定した映像を実現します。

【審査員の評価コメント】

テレビ放送のハイビジョン化に対応した防振機能と高ズーム倍率機能を実現し、TVレンズの外装的な美しさを進化させたレンズである。TV用レンズのニーズにあわせ、99倍という高ズーム機能、光学式の防振機能を持ち、さらに、16bit エンコーダーにより合成映像、バーチャルシステムとの連動を可能としており、失敗の許されないTVレンズに求められる、高品質、安定感、信頼感、新規性という機能を追求している。また、外装のブラッシュアップを行い、機能とともに、見栄えの面においても、従来品に比べよりさらに洗練されたものとなっている。プロユースならではのシンプルでありながら非常に力強い機能美を持ち合わせ、今後も「時代を記録する目」として、社会への貢献を期待させるデザインであると評価した。



■乳がん検査用デジタルX線撮影装置「AMULET Innovality」

乳がん検査用デジタルX線撮影装置「AMULET」の新ラインアップ機。新方式 FPD を搭載し、低線量での高画質撮影を実現。また断層像での病変観察を可能(オプション)にした。さらに、従来機で好評を得た快適な操作性や受診者の身体的負担を低減する外観形状の継承と共に、新たに受診者の心理的負担を和らげる間接照明を搭載。乳房圧迫時の痛み低減を目指した新構造の FS(Fit-Sweet)圧迫板にも対応しました。

【審査員の評価コメント】

マンモ検査の受診者にとっては、「痛い」「怖い」という不安がある。当乳房用X線診断装置では、まず身体的な痛みを和らげるために、圧迫板を乳房全体にフィットさせ圧力を分散することで乳房の痛みを低減している。受診者の精神的な緊張を和らげる試みとしては、薄暗い検査室環境でも安堵感を与えるために温かみのある間接照明を備えたり、医療器具らしくない華やかな印象を与えるデコレーションラベルを用意したりしている。なだらかな曲面を多用した有機的なスタイリングは、身体との親和性だけでなく視覚的な優しさを与えてくれる。これらは受診者の気持ちにならなければわからないデザインと言えよう。検査技師に対しては、操作部を本体センターに集約させることによって、不要な精神的負担を軽減している。性能面でも同社独自の新しい方式直接変換型フラットパネルディテクタを搭載し、低線量での高画質画像の撮影を実現している。また、複数の断層像で乳房内部の構造を観察できるトモシンセシス機能もオプションで搭載することが可能で、病変の観察を行いやすくしている。以上のことから、当応募対象を、性能の向上と受診者や医療従事者の負担軽減の両立を計った優れたデザインと評価した。



■デジタルX線画像診断装置「FUJIFILM DR CALNEO C 1717 Wireless SQ」

DR方式のデジタルX線画像診断装置「CALNEO」の新ラインアップ機。独自方式の FPD などを採用し撮影時のX線量を大幅に低減することを可能にしました。病院既設の撮影台をそのまま使用できるサイズで無線有線切替え機能等を搭載しました。17 x 17 インチ正方形サイズで、広い部位を一度に撮影できるため、被検者の体格に合わせて、製品本体の縦横の入れ替え作業が不要となり、技師業務の効率化を実現しました。

【審査員の評価コメント】

検査の効率化と患者の被曝リスク低減を実現し、且つ院内の既存のファシリティを買い替えることなく、手軽にデジタルに移行できる点において優れたソリューションである。正方形のプロポーションとすることで縦横の差し替えを不要としている点特徴的であり、現場の検査技師の作業性向上が期待できる。さらに、断面形状の工夫で検査者・被検者の体あたりに配慮しながら、清潔感と精度感のある質の高いデザインとしてまとめている点が評価された。



本件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

報道関係 コーポレートコミュニケーション部
インターネットホームページアドレス

TEL 03-6271-2000
<http://fujifilm.jp>